

支部だより

埼玉西支部 千木良宣行

5月11日～16日、川越市立美術館の市民ギャラリーで、第33回新日美埼玉西支部展を開催しました。中尾会長をはじめ、各支部の皆様にもご来臨いただき、有意義なご意見やご感想をお聞きできまして、支部員一同一層の努力・精進の思いを新たにしております。ありがとうございます。

展示は、20号以上100号までの大作が19点、15号以下の小品が43点と、60点を超える支部員の力作が天井の高い市民ギャラリーの壁面を埋め、壮観でした。小品には小品の魅力がありますが、やはり体力勝負の大作は絵画としての迫力があり、中でも昨年の第33回新日美展で「東京都知事賞」に輝いた、小高峯夫委員の独特の幻想的なブルーの色調の「ヨーゲ追想」F100号は、ご来場の多くのお客様に好評でした。また他に有望な作品もいくつか見られ、本展へ向け楽しみます。またこの展覧会をご覧になり、真面目な会のようなので、ぜひ新日美本展に出展したいという方も現れ、後で応募要項をお送りすることになりました。

新日本美術協会は美術団体であり、「美」を追求することをその存在の目的としております。従って傘下の西支部は、「美」に対して敬虔で賛美の気風が大切であり、支部員一同その醸成に努めております。実際真摯に取り組みれば取り組むほど、描くことの素晴らしさが分かってきます。現状に満足することなく、慢心を最大の敵と恐れ、地道にコツコツ「ジュミユツ」を合い言葉に、勉強しております。崇高な絵画芸術の前では全員平等、新参・古参もなく、自分以外は全て師であり、会場の作品展示の場所は抽選で決め、展示作業などは上級者ほど率先垂範汗を流します。その代わりこと絵画については真剣勝負で、毎月の勉会では作品を持ち寄って互い

に講評しあい、美術情報を交換し、少しでも良く、新しい、そして自分らしい境地を目指し努力を続け、その成果の発表が支部展なのです。

私自身は数年前から、支部の誰よりも枚数を多く描くことをマフレストで宣言し、実行してきました。勉強の成果は徐々にあらわれ、まったくコネの無い地方の公募展で受賞するようになり、ときに賞金なども稼いでおります。それにしても描くとき、至福のひとつときの充実感には表現できせん。

人生は一度きり。「美」の女神に憧れ、陶酔し、折角のいのちを熱く生きたいと願っております。

9月には銀座7丁目の竹川画廊で支部小品展「いろどり展」を行います。こちらは作品を売ることも勉強」とし、値段を付けて展示します。一昨年の「いろどり展」では、モスクワから来日したロシアのビジネスマンが、ドルで作品を購入しました。銀座には夢が転ずよう、お願いいたします。

広島支部の近況 前原専二

第九回広島支部展を5月4日～9日まで、福山市の天満屋で開催し本部会員11名で絵画23点と木竹工芸5点を展示した。

入場者はGWで心配していたが前回より60名増の820名の方にご来場頂きました。多くの来場者から毎回楽しみにしています今回は新聞を見て来たが、次回からは是非案内状を送ってほしいといううれしいお言葉を頂きます。御蔭さまで盛会裡に終了すること

が出来ました。6月29日～7月4日まで備後芸術の館 来夢来人」で支部5人展を開催する。来夢来人は1階～4階まで有名作家の書画工芸作品が頻りに展示される。日展系の展示が多く、それに一石を投じる覚悟でいる。

埼玉東支部 北条三郎

第29回埼玉東支部展は5月16日に6日間の会期を終了した。

会場の春日部市中央公民館ギャラリーは天井が高く壁面8メートルと広く照明もよい。絵描きの意見が反映された自慢の会場である。市民ギャラリーや商工センターの会場もあるのここに集中する。幸手や野田の団体まで利用する。当支部も3・4月抽選漏れで5月にやっと会期を迎えることが出来た。その甲斐あつてかむしろ多いに一人々々やる気が起きたと思われる。会員14名一人6m平均で大作を中心に総数63点を展示した。会場は熱気の籠った快い発表会だったと思います。なか日には懇親会を行いカラオケ等大変盛り上がった。最終日には中尾会長にお越し頂き一点々々丁寧にご講評を賜り今後の各自の方向性等参考になったと思われる。

御蔭さまで600名を超える来場を頂き大盛況のうちに終わることが出来ました。来季は当支部30周年ということで会場は又同じ、志部長ほかほぼ続投、垂れ幕看板は新調、新聞社への働き掛けなど皆で話合った。

当地区での他会の移り変わりは激しく支部展のやれなくなつた会や茨城県との合同展等で渡いでいる会もある。その様な中で当支部はずっと続けている。

今年2名の新支部員の出品もあり見応えのある展示となった。

支部は遅々牛歩の歩みでいいと思う。現状維持がわずかに上向き程度に存続すればと考えています。本来であれば本展の下見会等行うべきであるがまだそこまでは至っていないのが実情で今後の課題である。

34回新日美展は各自の自由な創意と工夫に任せ支部員の意欲作が上野の森の壁を占拠することを期待している次第である。

今後の支部展・小品展

- ・第29回東京支部展
7月13日～19日
東京芸術劇場展示室1(B1)
- ・新日美委員小品展
9月12日～18日 有楽町東京
交通会館 シルバーサロン
- ・埼玉西支部小品展(彩り展)
9月13日～18日
東京銀座竹川画廊

編集担当から

原稿は常時受け付けています。投稿お待ちしています。特に地方の方の近況や活動状況などお知らせください。

宛先
郵送: 埼玉県川越市石原町 2-53-6
小高峯夫
FAX: 049-224-0886 (TELと同じ)
mail: m-odaka@pop.kcv-net.ne.jp
Mail での投稿大歓迎。